

履修コード/科目名称	048461 / 日本近現代史特講ⅠB		
開講年度・期	2026年 後期	開講曜日・時限	金曜日 4時限
単位数	2		
付記	◎予		
主担当教員氏名(カナ)	松本 英俊 (マツモト ヒデトン)		
授業概要	本講義では、西洋法の受容から戦前日本で実施されていた「陪審制度」の導入・運用・停止、そして現代の「裁判員制度」の導入への展開（陪審制度の停止後、長期間、国民の司法参加がなかった背景などを含む）を軸に、司法制度改革の歴史を日本近現代史の中で概観します。単なる条文や制度の理解にとどまらず、陪審制度下の判例や史料を通じて、社会の規範意識、民主化運動や明治憲法との関係性を考察し、刑事訴訟法学的な歴史及び外国との比較法を取り入れつつ、現代社会および現行法の理解を深めます。		
到達目標(ねらい)	法や手続を単なる「条文」ではなく、当時の政治状況や社会の背景を映し出す「史料」として読み解く力を養います。 西洋法の受容過程、戦前の陪審運用における特殊な独自構造、そして相次いだ「陪審辞退」の実態から、日本近代の特徴を追究し、2009年開始の裁判員制度へと連なる軌跡を把握した上で、現代の市民参加型司法が抱える課題を歴史的文脈（必要な範囲で外国法との比較）の中で評価し、時代背景が司法制度にどのように影響していたのか理解することを目指します。		
授業スケジュール	第1回	講義の概要と司法参加制度の基礎知識 準備学習 (予習・復習等) 世界の司法参加制度を確認する。 60分	
	第2回	明治維新と西洋法の受容ー司法参加制度導入論 準備学習 (予習・復習等) 授業内に指示する人物・内容について確認する。 60分	
	第3回	明治憲法と陪審制度 準備学習 (予習・復習等) 配布資料を確認する。 60分	
	第4回	大正デモクラシーと司法参加 準備学習 (予習・復習等) 配布資料を確認する。 60分	
	第5回	日本型陪審制度の構造 準備学習 (予習・復習等) 配布資料を確認する。 60分	
	第6回	陪審制度の施行と運用の実態 1 準備学習 (予習・復習等) 配布資料を確認する。 60分	
	第7回	陪審制度の施行と運用の実態 2 準備学習 (予習・復習等) 配布資料を確認する。 60分	
	第8回	陪審法の停止とその背景 準備学習 (予習・復習等) 配布資料を確認する。 60分	
	第9回	終戦後司法改革と司法参加 準備学習 (予習・復習等) 授業内に指示します。 60分	
	第10回	昭和後期以降の司法参加論 1 準備学習 (予習・復習等) 授業内に指示します。 60分	
	第11回	昭和後期以降の司法参加論 2 準備学習 (予習・復習等) 授業内に指示します。 60分	
	第12回	司法制度改革と裁判員制度の導入経緯 準備学習 (予習・復習等) 授業内に指示します。 60分	

	第13回	戦前の陪審制度と裁判員制度		
		準備学習 (予習・復習等)	授業内に指示します。	60分
	第14回	近代日本と司法参加制度の総括		
		準備学習 (予習・復習等)	授業内に指示します。	60分
	第15回	授業内試験（レポート）		
		準備学習 (予習・復習等)	授業内に指示します。	60分
履修上の留意点等	詳細は初回授業で説明しますが、授業スケジュールは変更する可能性もあります。 授業内容の詳細は授業の前週までにお知らせします。			
遠隔授業（オンライン授業）の実施回数				
成績評価の方法	50%	試験		
	20%	課題		
	30%	平常点		
教科書/テキスト	指定しません。			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	初めての担当なので、授業期間中に随時意見を伺います。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目				
アクティブラーニング型の授業科目				
オープンな教育リソースの活用				